

私たちは、何を「悟る」んだ?!

本当は知ってる

(思い出)

悟る = 昔からの解放

「悟る」探索のイメージ

「苦しみ」をたどると... 「思い通りでない」
ということにたどり着く。 我慢

がまん → 何かをずる(得る)

(無価値感: 何かをしないと愛されない)

交換条件(あたかも洗脳) ← 絶対に前すぎてとれない

OS化はパターンプログラム ← 初期OS

無償の愛(無限の価値感、ただただただ)

★ No. 36 「悟り」とは？ 答へ

→ イチ組み(カウリ)のネタノビ

悟り

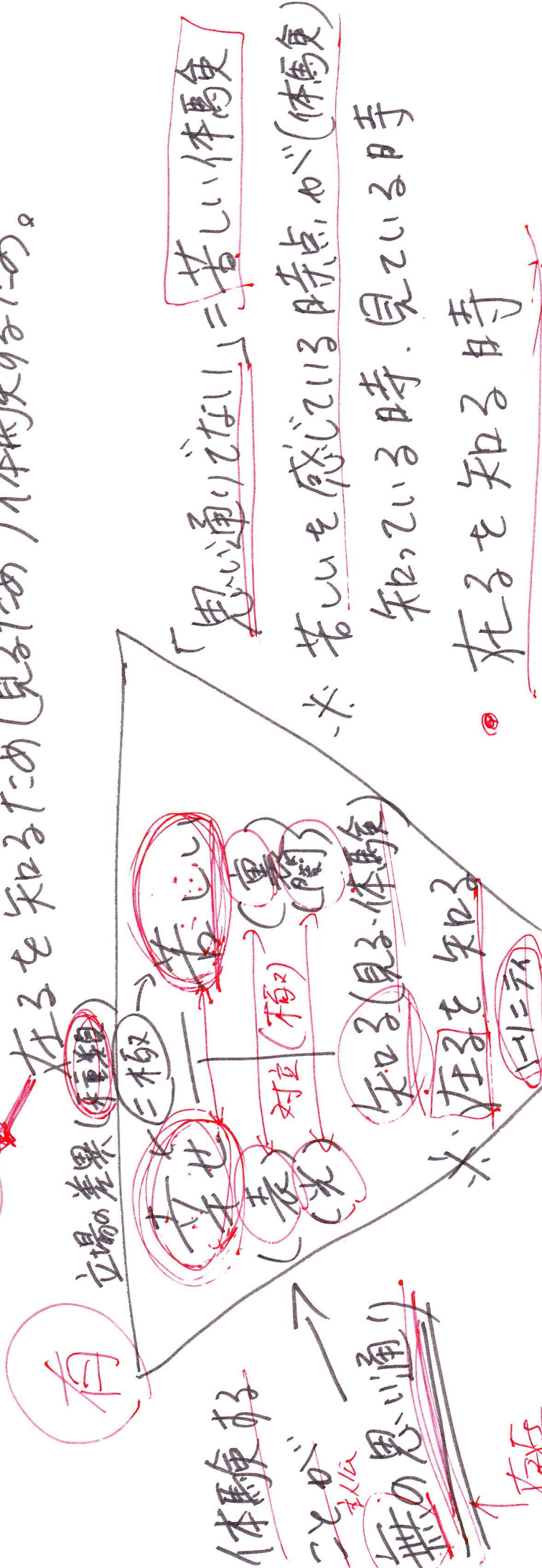
無が無を知るための知る遊びのために

有(愛)のレンジン = 宇宙空間(発現) ^{月手空何} 出現

※ 無 = 在るを知らない状態

有 = 二元 [二極・二看(見る者・見られる者)] (主体・客体)

在るを知るため(見るため)体験するため。



「思い通りでない」= 苦しい体験

※ 苦しいを感じている時点、やべ(体験)

知っている時、見ている時

在るを知る時

※ No. 34 「宇宙の出現のしくみ」参照

無^いが有(全体)のふりをしている。

無限のポテンシャル

自由自在

人間もこれ。

全知全能の神-みだいた!!

有(無の-側面)



はくろみだい

言ひ告ぐ
不申

起きていることだけ、体験(現象)があるのみ。

有(全体)

たを^ると知^る

外^れ 女想的幸せ (不足の補充)

お金、人間関係、仕事



何れを成しげうことを目的とする

没入 人生劇場

視点<=観点

無価値感 点灯中

いさな-極端な移動力 べつ

不快 若しめ

たんとかしおりとある。

「体験」することが目的

ただいだけ(その瞬間暮らし)

神^的

無限の価値感 点灯中

※ 体験するだけ、知^るさ^るび

← 在^るを知^る

→ 在^るを知^る人土組みの中

「差取り」 「消滅(滅)」

「一舌り」

ただ現象が現象のまにを思ひ出す

本当は知^る子 →

人間は「誰か」

金体

小吾った子は なんだ!!

探求

シンワル

心で感じ...

「灯台を暗し
ち」

頭の上の「カネ」

「性別にフォーカス
しなさい」



赤ちゃんだったんだもん♡

興 = 有 (金: 金体)

赤ちゃん、ただにいるだけ。人本舞にいてるだけ

(月域内にその時の「ジョイン」のみ)

大人は、その拡大バージョンなだけ。

種類豊富・複雑なことだけ

シンワル